

2007 年 3 月 29 日

国内メディアコンタクト:

井上 卓也
アルティウムジャパン株式会社
東京都品川区西五反田 1-23-9
りそな五反田ビル 7 階
www.altium.co.jp
電話: 03-5436-2501
Email: takuya.inoue@altium.co.jp

Altium Media Contact:

Elisa Davies
Altium Limited
Level 3, 12a Rodborough Road
Frenchs Forest, NSW 2086
Australia
www.altium.com
Telephone: +61 2 9975 7710
Email: elisa.davies@altium.com.au

AltiumDesigner の地域言語サポート

新たに韓国語のサポートを開始し、アジア、ヨーロッパの各国言語機能が強化

2007 年 3 月 29 日、オーストラリア、シドニー – Altium Limited (ASX: ALU) は、本日、統一エレクトロニクス製品開発システム AltiumDesigner 6 に対する韓国語サポート機能のリリースを発表した。これによって、従来のフランス語、ドイツ語、日本語、中国語の簡体字や繁体字の Altium Designer のユーザーインターフェース言語機能はさらに強化された。個別バージョンのソフトウェアとは違い、Altium Designer の韓国語のサポートは他のすべての言語と同様にシステムにビルトインされており、インストールの際、あるいはインストール後でも選択できる。これにより、韓国のエンジニアおよび様々な国や地域に関わっている多国籍な大規模組織におけるエレクトロニクス開発がより容易になる。

Altium Designer の多国語機能は、個々のユーザーレベルでの習熟度と、企業レベルでの管理において大きなメリットを提供する。エンジニアにとって、自国語で作業できる設計ツールは、設計プロジェクトの効率性の向上および高品質の達成につながる。大規模な組織にとって、複数の言語で展開することができる単一のアプリケーションを持っていることは、地理的に同じ場所にあっても、あるいは分散した地域にわたっても、様々な言語を話す関係者の要求を満足させることになり、エレクトロニクス製品開発を簡素化するための多くの方法を提供することになる。これによって、技術アップデートに関する同時ロールアウトが簡素化し、ローカル言語の違いあるいは製品バージョンの違いのために、ロジスティックスに時間がかかる、複雑なローカライゼーション対応の管理工数が削減される。

さらに、Altium Designer は、国際的な Unicode 規格をサポートしているため、開発者は母国語でエレクトロニクス設計を行うことができ、データの再処理を必要とせず、他の言語を話す開発者と共同で設計を進めることができる。この統一機能によって、多言語のエレクトロニクス開発環境の設計フローが容易に構築でき、システムの TCO (Total Cost of Ownership、総所有コスト) を大幅に削減することが可能になる。

「私たちは、エンジニアがより迅速にエレクトロニクス設計を遂行し、時代に遅れないイノベーションを活用できるように、常に世界中のエンジニアが、最先端の設計技術を獲得できる方法を探求しています。」と、Altium Limited の創業者で CEO の Nick Martin 氏は述べている。「ローカル言語で設計サポートやユーザーサービスをすることによって、すべてのお客様が、高い

製品性能と低設計コストを実現できるように、さらに操作性を向上させ、ユーザーの設計経験と品質を高めていきたいと思っています。また、グローバルな企業は、エレクトロニクス開発については、一体化された単一のソリューションを簡単に搭載でき、またソフトウェアの保守も簡単にできるようになる、ということです。」

価格と入手

英語、フランス語、ドイツ語、日本語、中国語簡体字および繁体字、韓国語サポートは、Altium Designer 6 の最新のソフトウェアアップデート Altium Designer 6.7 で利用可能となっている。Altium Designer 6 ライセンスを所有しているユーザーは、このアップデートを、<http://www.altium.com/Community/Support/SoftwareUpdates/> から無償でダウンロードできる。Altium Designer は世界中にある Altium のセールス/サポートセンターから購入できる。価格とフレキシブルな製品ライセンスオプションの詳細は、各地域のセールス/サポートセンターより確認できる。また詳細は www.altium.com/contacts でも閲覧できる。

Altium Designer について

Altium Designer はハードウェア、プログラマブルハードウェア、組み込みソフトウェアなどのエレクトロニクス製品開発フローにおいて、個別な設計フローの組み合わせがもたらす設計の複雑さを取り除いた統一されたエレクトロニクス製品開発システムである。Altium Designer の統一設計環境は、ユーザーが最新エレクトロニクス技術の潜在的可能性の活用を促し、プログラマブルデバイスのスペシャリストを必要とせずに「ソフトな」設計手法へ移行することを可能にする。これは企業に対し、設計の柔軟性、製造費の削減、および短期間での製品開発と市場投入をもたらす。また Altium Designer は、ベンダやデバイスの種類に特化することなく完全に独立したソリューションである。さらに機能の追加やソリューションの完成は、費用の追加は不要もしくは低価格で、必要なときにいつでも行うことができる。製品の詳細については、<http://www.altium.co.jp/Products/AltiumDesigner/> でも閲覧できる。

Altium Limited (アルティウムリミテッド) について

Altium Limited (ASX:ALU) は、エレクトロニクス製品開発を行なう上で、異なる設計手法を統合するエレクトロニクス製品開発ソリューションの開発・販売で世界をリードしている。Altium の製品は、すべての技術者、設計者、開発者、そして組織が高性能な製品を市場にいち早く投入すべく、統一された設計テクノロジーを最大限に活用できることを確信している。1985 年に設立され、本社をオーストラリアのシドニーに置き、そのセールス/サポートオフィスとして、オーストラリア、米国、日本、中国およびヨーロッパにその拠点を置く。また世界中に代理店、リセラーをもち主要な市場をカバーしている。より詳細な企業情報については、Altium 社のホームページ、www.altium.com で公開している。

アルティウムジャパン株式会社について

アルティウムジャパン株式会社は、アルティウムリミテッドの日本法人 (同社 100% 出資) として、プロテルジャパン株式会社と日本タスキング株式会社が合併され、設立された。同時期にプロテルジャパン株式会社のセールスオフィスであったアクセルテクノロジーインク日本支社も統合された。アルティウムリミテッドの掲げるビジョンに基づき、日本においてもその理念の浸透と、日本の開発エンジニアに利益をもたらすために、開発ツールのワンストップ・ウィンドウになることを目標としている。より詳細な情報については、アルティウムジャパンのホームページ、www.altium.co.jp で公開している。

Altium、Altium Designer、LiveDesign とそれぞれのロゴは、Altium Limited ならびにその子会社の商標あるいは登録商標です。その他の登録商標、商標、ロゴは、その商標の持ち主に帰属し、それらの商標権を主張するものではありません。